

授業の概要

頭頸部における骨、顎関節、筋、神経および血管などについての関係を理解し、人体解剖として正常な形態を理解する。

■教科書：最新歯科技工士教本 口腔・顎顔面解剖学（医歯薬出版）

■参考資料：プリント配付

■授業時間：木曜日（偶数日） 18:00～18:45

■オフィスアワー：藤原 恭子 (fujiwara.kyoko@nihon-u.ac.jp) 木曜日 16:30～17:30

■成績評価：前期：定期試験（35%）と平常試験（5%×3）

後期：定期試験（40%）、平常試験（5%×2）で評価する。

平常試験後に解説を行いフィードバックする。

■授業方法：講義形式、授業内に平常試験を行う。第3回、第7回に平常試験と解説を行う。

■準備学習：事前に教科書で講義項目を確認しておくこと。

■準備学習時間：事前に教科書で講義項目を確認しておくこと。

講義時間と同等の時間の予習と復習を各自で行うこと。

■実務経験；藤原 恭子：現在、日本大学歯学部において解剖学を教えています。その経験を生かし、この授業では口腔内で機能する補綴装置を製作する上で大変重要な、口腔・頭頸部の構造・機能について、わかりやすく説明したいと考えております。

授業日・担当者	講義項目	学修到達目標
第1回9月12日 藤原 恭子	1. 口腔 1) 口腔の隣接器官 2) 口腔 3) 口蓋 (教) pp169-173	<ul style="list-style-type: none"> 口腔の隣接器官が説明できる。 口腔の区分が説明できる。 口蓋が説明できる。
第2回9月26日 藤原 恭子	2. 頭蓋の骨 1) 脳頭蓋骨 2) 顔面頭蓋骨 3) 頭蓋の全景 (教) pp131-151	<ul style="list-style-type: none"> 頭蓋の役割が説明できる。 脳頭蓋骨の種類および形態的特徴が説明できる。 顔面頭蓋骨の種類および形態的特徴が説明できる。 1. 頭蓋冠, 2. 側頭部, 3. 頭蓋底, 4. 眼窩および5. 鼻腔と副鼻腔について形態的特徴が列挙できる。
第3回10月17日 (奇数日) 藤原 恭子	「平常試験」	<ul style="list-style-type: none"> 第1回～2回の内容を総括し、平常試験を行う。 重要事項と新しい項目における疑問点を解決できる。

授業日・担当者	講義項目	学修到達目標
第4回 10月31日 (奇数日) 藤原 恭子	3. 口腔周囲の筋 1) 浅頭筋 2) 深頭筋 3) 舌骨筋群 (教) pp153-161	<ul style="list-style-type: none"> ・ 浅頭筋では, 1. 眼輪筋, 2. 口輪筋, および3. 頬筋の分布と作用が説明できる。 ・ 深頭筋では1. 咬筋, 2. 側頭筋, 3. 外側翼突筋, および4. 内側翼突筋の分布と作用が説明できる。 ・ 舌骨筋群では, 1. 舌骨上筋群と2. 舌骨下筋群の種類と作用が説明できる。
第5回 11月14日 藤原 恭子	4. 顎関節 1) 顎関節の構造 2) 下顎の運動 (教) pp165-168	<ul style="list-style-type: none"> ・ 顎関節の特徴と運動が説明できる。 ・ 咀嚼筋の作用が説明できる。
第6回 11月28日 藤原 恭子	5. 口腔 4) 唾液腺 5) 舌 6) 咽頭と喉頭 (教) pp173-180	<ul style="list-style-type: none"> ・ 唾液腺の位置と種類が列挙できる。 ・ 舌が説明できる。 ・ 食物の通過する経路として, 咽頭を説明できる。
第7回 12月12日 藤原 恭子	平常試験と解説	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第4回~6回の内容を総括し, 平常試験を行う。 ・ 重要事項と新しい項目における疑問点を解決できる。
第8回 12月26日 藤原 恭子	前期後期まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歯の解剖学Ⅱにおいて, これまでに学んできた内容を確認し理解度を深めることができる。